

PEN—international  
2006 Summer Leadership Institute  
Journal

筑波技術大学 田村結香

8月6日

期待を胸いっぱいに膨らませて挑んだ研修1日目。実際に Herstmonceux 城を間近で見て感動した。見学ではエリザベス女王が昇った階段や首なしドramaなど城にまつわる話をたくさん聞くことができた。紹介ゲームでは各国の研修生と少しだが打ち解けることができた。コミュニケーション法に不安を感じていたが、無用だった。言語が違ってもコミュニケーションをとることができる聾文化のすばらしさを改めて実感した。グループ発表では各国がテーマにこだわらずに自由に発表していたので日本との違いを感じた。これから1週間が楽しみである。

8月7日

本格的に講演が始まった。Hurwitz 夫婦の話は非常に興味深い内容だった。「やってみる、経験してみることが大切」というごく当たり前の言葉が非常に心に響いた。二人の経験を聞いて、自分の将来について深く考えさせられた。自分はこれから何をするべきなのか、これからゆっくり考えていきたい。「効果的なコミュニケーションと交渉技術の向上」では状況に応じて5つの対応法を使い分けることができるということがよくわかった。頭を柔らかくし、問題に対して臨機応変に対応する力を持つことなどがどれだけ難しいか考えさせられた。

8月8日

講演「イメージと実態」では、聴覚障害者の仕事について考えさせられた。日本は社会全体が「聴覚障害者には出来ない」という先入観や思い込みが強い風潮にある。ただし、コミュニケーションや安全性に対する改良策を考え出すことによってこの先入観をなくすことが出来るということを学んだ。アメリカやロシアの考え方は日本人と正反対であり、「無理だ」という考え方があまりないので、見習いたいと思った。最後の蛙の話は面白かった。

「目標設定と達成に向けて」は一番印象に残った講演だった。ここで最も印象に残った言葉—”A goal is a dream with a deadline.”これを座右の銘にしたいと思った。「目標」「達成方法」「期限」「資源」を表にして書きとめて目標設定→達成→自信をもつ→新目標設定…というサイクルを繰り返すことによってリーダーシップを育てることが出来る。この目標設定法は非常に有効な方法だと思う。そして、この講演で自分が今明確な目標を持っていないということに気づいた。他の研修生はほとんどが明確な目標をもち、堂々と発表していたので刺激を受けた。

8月9日

見学旅行で有名なドーバー海峡、ホワイトクリフを見ることが出来、いい経験になった。英国の自然には心落ち着くものがあり、また来たいと強く思った。趣ある町並みも魅力的だった。夜は

パプで森さんの誕生パーティを行った。突然決まったパーティにもかかわらず全ての国がお土産をプレゼントにして渡していたので驚いた。さすが日本人とは違って、人を喜ばせることを常に考えているのだと思った。日本からはお土産をまったくと言っていいほど持つて行かなかったので反省した。

#### 8月10日

休憩時間に行ったTV会議は始めての経験で新鮮だった。このような設備の発達は聴覚障害者の情報保障にも大いに役立つと思う。情報工学を専攻する身として、このような設備についてもっと勉強したいと思った。講演「成功した聾指導者の特色」では Alan 氏が経験を元にして学んだ「リーダーシップ」について話してくれた。議論の方法、組織の作り方、リーダーに求められる力についてなど、非常に勉強になった。救命ボートゲームでは言いたいことが言えず自分の表現力の乏しさにがっかりした。他国は言語が違っても豊かな表現力でコミュニケーションをとっていたのですごいと思った。これが聾文化なのか。やはりコミュニケーションとるには「伝えたい」という気持ちを強く持つことが大切なだろうと思った。私は伝えたくてもうまく表現できないと途中で諦めてしまう癖があることに気づいた。これは日本にいるときでも同じである。手話がなかなか上達しない原因はここにあったのだと思う。コミュニケーションを取ることの難しさについて改めて考えさせられた。

夜は文化発表があった。ここでも他国は準備万端で充実した発表内容だった。日本は少々準備が足りなかつたと反省した。

#### 8月11日

研修最終日。人生で最も大切な技能のひとつである人間関係作りについて、情報保障を得るために自助努力についてなど、最終日にふさわしい講演内容であった。本当にあつという間の1週間だった。この研修で出会った人たちとはこれからも連絡を取り合っていきたい。

#### THANK YOU!!

ここで学んだことをこれから的人生に活かしていきたいと思います。内容の濃い充実したプログラムを用意してくださったスタッフの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。本当に有難うございました。